



みえの子

「可能性に挑戦！」

～肯定的な関わりの中で、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～



かわいい1年生が入学しました！！ ご入学おめでとうございます

4月9日（火）に16名の新1年生が入学しました。今年度も4・5・6年生が入学式に参加し、入学をお祝いしてくれました。新入生の呼名では、元気よく大きな声で「はい」と返事ができました。校長の話も体を止めて聞くことができていました。また、在校生や保護者の皆様をしっかりと見つめて立派な態度で入学式に臨めていました。最高学年となる6年生も新入生をエスコートしたり、優しい声をかけたりし。温かな雰囲気の中で、小学校生活の素晴らしいスタートが切ることができました。



1年生 初めての給食

4月15日（月）、1年生の子どもたちが楽しみにしていた給食が始まりました。給食当番の子は、素早く身支度をし、配膳の仕方を先生に教えてもらいました。

いよいよ配膳。おかず等の量も考えながらこぼすことなく上手にできました。待っている子たちも、静かに行儀よく待つことができました。

初めての給食、残さずいただきました。



4年生 自転車教室

4月13日（土）、育成会の皆様、豊岡警察署様、庄境駐在所様のご協力により、4年生の自転車教室を実施していただきました。自転車の点検の仕方や交通ルール、公道での自転車の乗り方等を学びました。真剣にお話を聞いたり、自転車練習をしたりすることができました。自転車教室は終わりましたが、学校でも、子どもたちが安全に自転車に乗れるよう指導してまいりますので、保護者・地域の皆様の見守りもどうぞよろしくお願いいたします。



☆教職員が時間的・精神的ゆとりを持って子どもたちと向き合うことで、教育活動の更なる充実を図ることができるよう、「教職員の勤務時間の適正化」の取組を推進しています。その取組のひとつとして、今年度、本校では、毎週木曜日を教職員の「定時退勤日」として設定し、17時30分までには退勤（勤務終了時刻は16時30分）することとしています。また、電話対応につきましても、毎日18時30分～翌朝7時30分までは留守番電話となります。何とぞご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

※校庭の人工巣塔にコウノトリのひなが孵化しました。今年は巣立ちが見られますように。

学校教育目標

可能性に挑戦！

～肯定的な関わりの中で、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

<めざす児童像> ～夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子～

- 自分で心のスイッチを入れ、やってみる子、最後までやりとげる子
- 自分の思いを表現し、仲間とともに助け合い、学び合える子
- 自分の気持ちをコントロールできる子

<めざす学校像>

- 一人一人の良さが認められ、一人一人が大切にされ、居心地のいい学校
- 肯定的な「合い」に満ちた学校（助け合い・教え合い・励まし合い等）
- 子どもたちの安全・安心が保障され、家庭・地域から信頼される学校

<めざす教師像>

- 子ども・保護者のこえに誠実に耳を傾け、思いに寄り添うことができる教師
- 子どもたちが学ぶ楽しさ・良さを感じることができる授業実践を追求できる教師
- 教育愛にあふれ、子どもや同僚とともに学び続ける教師

<重点取組事項>

実践のキーワード：「聴く」「褒める」「認める」「喜ぶ」

☆子どもたちの姿を的確に把握し、価値づけ、意味づけを行う。

☆全教職員で、三江の子を育てるための同僚性の構築と協働体制を確立させる。

☆特別支援教育、愛着形成等の視点から、子ども理解を深め、適切な支援・指導を推進する。

☆「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成のために

○「やってみる」「やり直す」「やり遂げる」「やり続ける」の4つの『や』を意識化させる。

○「個に応じた指導」と話し合い活動を位置づけた「協働的な学び」を充実させる。

○UDの視点を取り入れた授業づくり、思考と表現を重視した後半重視型の授業づくりを目指す。

○「言語活動」「知的活動」の充実や「豊かな心」育む観点から読書活動の推進を図る。

○ICTを効果的に活用した学習活動を推進する。

○体験活動や縦割り活動を推進する。

○非認知能力向上の視点を持ち、あらゆる教育活動に位置づける。

○「コウノトリ」や地域の「ひと・もの・こと」に学ぶふるさと教育、環境教育を充実させる。

○学びを支える「体づくり」を推進する（運動時間、外遊びの保障、「姿勢・体幹」指導等）

○「心・体・頭の力」を守る「食育」「眠育」指導を充実させる。

○自らの「命」の守り方と主体的に行動する力を育む防災・防犯学習を充実させる。

☆家庭・地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。（コミュニティ・スクール）

○家庭や地域と手を携え、望ましい学習習慣、生活習慣の確立を図る。

（あいさつ・読書・情報モラル（省メディア）・食育・眠育等）

○参観日や各種通信、ホームページ等により積極的な情報発信に取り組む。

☆子どもたちに向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスに配慮した働き方改革を推進する。